



消えた時間割

にしむら ゆり
西村友里作

おお ば けん や
大庭賢哉絵

がっけん
学研プラス

四年生の真子は、足元から急にふく風におどろいた。
先週、古くからある寺に行き、書道の達人のかけじく
を見た。クラスで配られた「時間割予定」に、墨汁が飛
びちったのは、そのあとだ。真子のプリントは「絵の具」
が墨汁のしみで読めなくなった。すると、授業で絵の具
は使わなかった。翔太は、「算数」
の文字が読めなくなり、墨汁が消し
たとおり時間割がなくなった。
これって、ぐうぜん？ 気がつく
と、とつぜん不思議な風がふく。お
寺の言い伝えと墨汁のなぞをとく。

